

あいち農産物生産流通レポート

令和3年5月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ ソルガムを利用した露地野菜のかり減肥技術を開発 (農業総合試験場)	1
・ 加工食品の原料原産地表示に係る経過措置期間が終了します! (食育消費流通課)	3
◎ 地域トピックス	
・ 河川清掃や放流活動で矢作川を守る! 矢作川漁業協同組合の取組み (豊田加茂農林水産事務所)	4
・ 六ツ美養鶏加工協同組合が輸出用処理施設を整備 (西三河農林水産事務所)	5
◎ 東日本情報	
・ 国をまたぎ、高品質な生食用ぶどうの年間生産、販売を行う (東京事務所)	6
◎ 西日本情報	
・ 2020年度の農林水産物輸出プロモーション強化事業について (食育消費流通課)	8
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の5月の見通し(県内市場)	22

※今月、「フラワーページ」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

ソルガムを利用した露地野菜のカリ減肥技術を開発

農業総合試験場

イネ科緑肥のソルガムは、肥料成分のカリを多く吸収します。夏季にソルガムを栽培することで、深く張った根の吸収作用により降雨に伴うカリの流亡を抑制し、地下のカリを地上部に吸い上げます。

このため、すき込み後にソルガムから放出されるカリを利用することで、後作でのカリ減肥が可能と考えられました。

そこで、ソルガムのカリ吸収特性とすき込み後の肥効の調査、カリの減肥試験を実施することで、ソルガムを利用したカリ減肥技術を開発しました。



緑肥ソルガム

1 ソルガムのカリ吸収特性

愛知県内の露地ほ場で栽培するソルガムの収量とカリ吸収量の関係を調査しました。

ソルガムは生育が旺盛なため、順調に生育すれば5t/10a以上の収量が得られ、カリ吸収量は30kg/10a以上となることがわかりました(図1)。

また、ソルガムの収量が5t/10a以上となる場合、草高は概ね150cm以上であり、草高をカリ吸収量の目安とすることができます(図2)。

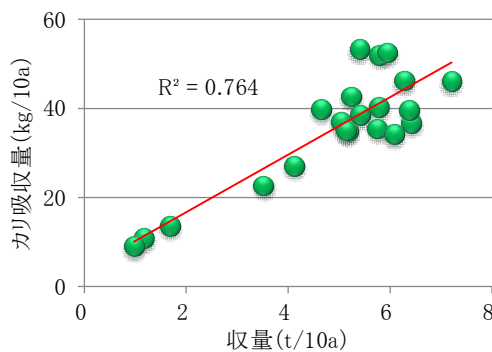


図1 ソルガムの収量とカリ吸収量の関係

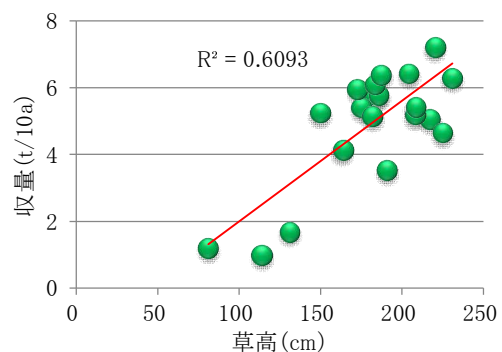


図2 ソルガムの草高と収量の関係

2 すき込み後の交換性カリの動態

収量約6t/10aのソルガムをすき込んだ後の土壌中の交換性カリ含量の推移を調査しました。

ソルガムを作付けせずに裸地状態で維持した裸地区に比べ、ソルガム区は交換性カリがすき込み後速やかに増加しました(図3)。

また、増加した交換性カリ含量は常に裸地区よりも高い状態で維持されました。

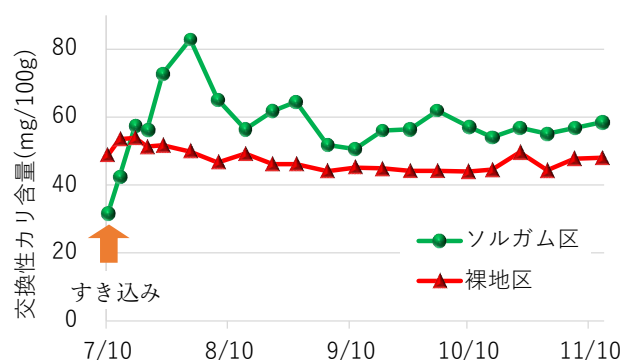


図3 ソルガムすき込みほ場の交換性カリ含量の推移

このことから、ソルガムが生育期間中に吸収したカリはすき込み後、作土の交換性カリ含量の増加に寄与し、後作での利用が可能であると考えられました。

3 ソルガム後作でのカリ減肥試験

2017年から2019年にかけて、ソルガムを利用した後作キャベツのカリ減肥試験を行いました。

試験は夏季に緑肥を作付けせずに後作を慣行施肥とする「緑肥なし・慣行施肥区」、夏季にソルガムを栽培し、後作を慣行施肥とする「ソルガム・慣行施肥区」、夏季にソルガムを栽培し、後作のカリを20kg/10a程度削減する「ソルガム・カリ減肥区」の3つの試験区で行いました。

2017年作のキャベツ収量は3試験区で同程度になりました(図4)。また、2018年、2019年も収量は3試験区とも同程度であり、カリ減肥によるキャベツ収量への影響は見られませんでした。

キャベツを3作栽培した後の交換性カリ含量は「ソルガム・カリ減肥区」と「緑肥なし・慣行施肥区」で同程度であり、3年間カリの減肥栽培を行っても交換性カリ含量は減少しませんでした(図5)。

以上のことから、草高150cm以上に生育したソルガムをすき込むことにより、後作キャベツで20kg/10a程度のカリ減肥が可能と考えられました。

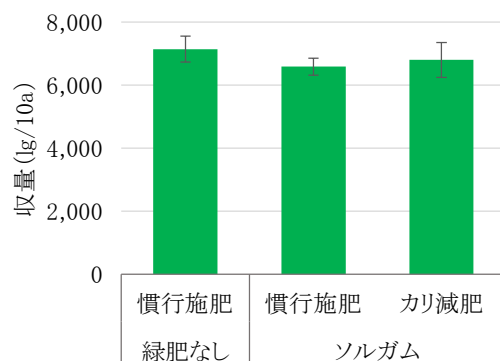


図4 キャベツの収量 (2017年)

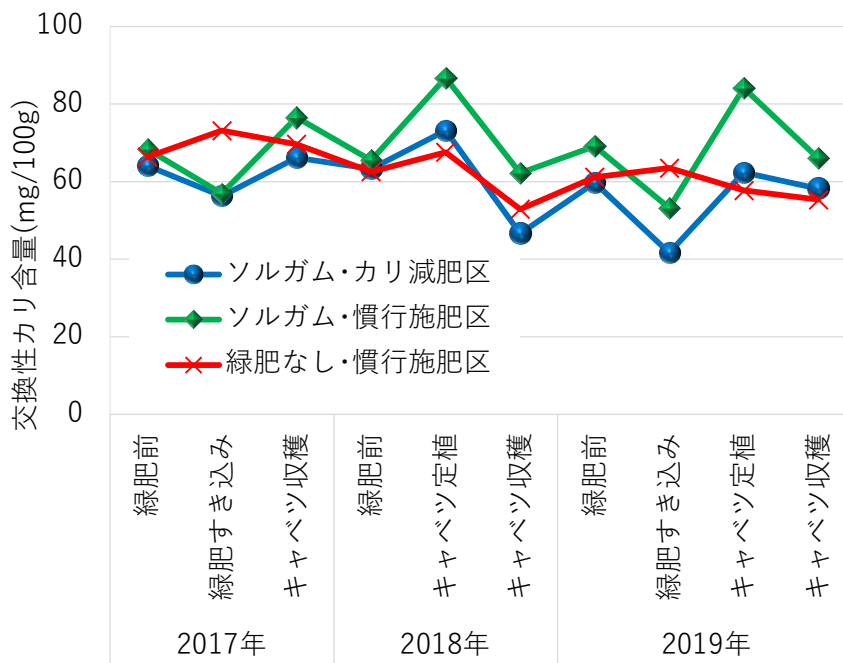


図5 カリ減肥試験ほ場の交換性カリ含量の推移

4 まとめ

ソルガムの草高が150cm以上であれば、30kg/10a以上のカリの吸収があり、後作で20kg/10a程度のカリ減肥が可能となります。

慣行肥料でリン酸の含量が少ないV型肥料を利用している場合には、ソルガム栽培後にリン酸、カリの含量を抑えたL型肥料の利用が可能であり、施肥コストを削減できます。

【本研究は、農林水産省戦略的プロジェクト研究推進事業で実施しました】

加工食品の原料原産地表示に係る経過措置期間が終了します！

食育消費流通課

令和4年4月1日から、国内で製造される全ての加工食品について、一番多く含まれる原材料の産地を表示する原料原産地表示が義務付けられます。これにより消費者は、表示された産地を見て商品を購入することができるようになります。

1 原料原産地表示

原料原産地表示は、生鮮食品に近いと認識されている加工食品（22食品群と5品目）にのみ義務付けられていましたが、平成29年9月1日に食品表示基準が改正され、全ての加工食品について義務化されました。食品メーカー等が準備をするための経過措置期間が令和4年3月31日までとなっていることから、この改正以降は原料原産地を表示することになります。

※外食、容器包装に入れない場合、作ったその場で販売する場合及び輸入品は対象外です。

2 表示方法

- (1) 一番多い原材料が生鮮食品（農産物、畜産物、水産物）の場合は、その産地が表示されます。

表1 一番多い原材料が生鮮食品の場合の原料原産地表示の例

名 称	ウインナーソーセージ
原材料名	豚肉（アメリカ）、豚脂肪、たん白加水分解物、・・・

表示の意味：アメリカ産の豚肉を使用している。

- (2) 一番多い原材料が加工食品（製造又は加工された食品）の場合は、その製造地が表示されます。

表2 一番多い原材料が加工食品の場合の原料原産地表示の例

名 称	チョコレートケーキ
原材料名	チョコレート（ベルギー製造）、小麦粉、・・・

表示の意味：ベルギーで作られたチョコレートを使用している（ベルギー産のカカオ豆を使用しているという意味ではありません）。

河川清掃や放流活動で矢作川を守る！矢作川漁業協同組合の取り組み

豊田加茂農林水産事務所

1 矢作川漁業協同組合の概要

矢作川漁業協同組合は、河川全長117kmの一級河川である矢作川のうち、上中流部48kmの区間を管理し魚の増殖を実施しています。明治35年から続く組合であり、愛知県の内水面漁業協同組合では、2漁協しか行っていないアユの養殖販売を営んでおり、豊田市の活性化にも一役買っています。



矢作川の遊漁者の様子

2 矢作川漁業協同組合の活動

(1) 河川の保全

矢作川の豊かな漁場を守るために、定期的に河川清掃を行い、漁場の保全に努めています。特に外来種のおオカナダモは、アユの餌である藻類の自生を妨げます。豊田の美しい景観にも悪影響であるため、地域住民やボランティアとの協力、補助事業の活用によって、おオカナダモの除去を行い、本来あるべき矢作川の姿を守る活動も行っています。

(2) 河川に係る地域住民の意識高揚

地域の小学生を対象に稚アユ（アユの稚魚）の体験放流活動を行っています。この活動は、レジャーの多様化による川への関心の薄れを危惧して行われているものです。体験放流の活動を通じて、子どもたちに川への興味を持ち、将来的に川を保全する人に成長してほしいという想いを胸に活動を行っています。



稚アユの体験放流活動

3 矢作川漁業協同組合のアユ加工・販売

年間を通じて養殖アユの加工・販売事業を行っています。商品のラインナップは、冷凍アユやアユの干物、アユ甘露煮など多数あり、365日アユが楽しめます。また、夏には生アユの購入が可能です。大量注文にも対応しているため、バーベキューや贈答用としてもご利用できます。是非ご賞味ください。



アユの加工品

矢作川漁業協同組合 HP <https://yahagi-ayu.net/>

六ツ美養鶏加工協同組合が輸出用処理施設を整備

西三河農林水産事務所

六ツ美養鶏加工協同組合（岡崎市）は主に成鳥を扱う食鳥処理場です。西三河地域を中心に愛知県西部の採卵鶏農家から集荷していますが、近年は取引が広域化し、複数の食鳥処理場と提携して県内外の大手養鶏業者からも集荷しています。

当組合では従前から主に香港向けに手羽を輸出していますが、新たにベトナムへの輸出に取り組むため「令和2年度輸出国先の市場変化に対応した食品等の製造施設整備の緊急支援事業」を活用して中抜き処理施設を整備しました。

1 新しい販路としてのベトナムへの輸出の取り組み

国内では、このコロナ禍で飲食業の営業自粛や顧客減少の結果、鶏肉消費量が激減しています。

一方、ベトナムでは成鶏の供給を主に韓国からの輸入に頼っていましたが、近年、鳥インフルエンザ等の発生により供給が不足しています。代わりに食品衛生管理体制の評価が高い日本からの輸入食材ニーズが高まっていることから、縮小した国内需要の代わりにベトナムへの輸出を組合として取り組むものです。

2 施設の紹介と今後の予定

「中抜き」とは鶏の頭、羽、内臓を取り除いたもので、東南アジアではこの形態での流通が主流となっています。国内では部位別の販売が主流であり、従来の施設では輸出用に十分な数を処理することが難しいため新たに整備しました。この施設では1日1,000羽処理することができ、一か月に12tの出荷を目標としています。

今年は、県外で鳥インフルエンザが連続した影響により養鶏場からの出荷羽数が激減し、現在は輸出向けに仕向けるだけの羽数が十分に確保できない状況にあります。組合としては出荷羽数が回復次第、輸出が開始できるよう準備を進めており、早期の回復が望まれるところです。



外 観



中抜きライン

国をまたぎ、高品質な生食用ぶどうの年間生産、販売を行う

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

株式会社 GREENCOLLAR は、日本とニュージーランドで生食用のぶどう生産を行い、年間を通して販売をしています。

1 社内提案による会社設立

株式会社 GREENCOLLAR は、三井不動産株式会社の社内ベンチャー企業として令和元年12月に設立されました。

日本で生産されるぶどうは9割以上が国内消費であること、通年供給できていないこと、大規模生産者がいないことから、北半球の日本と南半球のニュージーランドでそれぞれ栽培を行うことで、年間を通じて日本の高品質なぶどうを世界に向けて販売するといった内容で、平成30年に社内提案されました。社内承認の後、提案者が株式会社 GREENCOLLAR の代表を務め、事業を推進しています。目指すのは、世界で唯一の生食用ぶどうカンパニーです。

2 ぶどう生産の取り組み

(1) 適地での栽培

日本ではぶどう生産が盛んな山梨県で、ニュージーランドでは北島の東側に位置するホークス・ベイ地区で栽培に取り組んでいます。ホークス・ベイ地区は、日照時間の長い山梨県よりもさらに日照時間が長いうえに梅雨がなく、寒暖差が大きいことからぶどう生産に適しており、ニュージーランド内屈指のワイン生産地となっています。

山梨県で5ha、ニュージーランドでは10haの規模で栽培を開始しており、本格的な収穫は2023年からはなりますが、今後はそれぞれ規模拡大を予定しています。



山梨県内ほ場

(2) 日本の品種を利用

高品質な生食用ぶどうを生産するため、日本の品種にこだわり、山梨県では人気の高い「シャインマスカット」を栽培しています。ニュージーランドでは、「シャインマスカット」を交配親としてもつ「バイオレットキング」と、長く親しまれている「巨峰」を栽培しており、いずれも皮ごとの生食を想定しています。

(3) 栽培技術の ICT 化

品種同様、日本の栽培技術にこだわっています。高品質なぶどうを生産するには栽培技術の習得が不可欠であるため、葡萄専心株式会社を生産パートナーとしています。同社は山梨県笛吹市にある農業生産法人で、株式会社 GREENCOLLAR よりも早くニュージーランドに進出し、日本の品種を日本式の棚式によって生産を行っています。そのため、年2回、日本とニュージーランドのそれぞれで栽培指導を受けています。ぶどうは年1作ですが、年2回の経験ができるため、栽培技術の習得が早くなると期待さ

れています。

さらに、高い栽培技術を持った者がいなくても生産できるよう、栽培技術の ICT 化に取り組んでいます。葡萄専心株式会社は、山梨県内とホークス・ベイ地区にはほ場があり、高い技術をもつ同社のほ場で各種データを取得しています。栽培技術の可視化を目指しており、将来的には教育システムの開発につなげることを目標としています。また、作業工程の一部自動化や収穫量予測などを実現することで、担い手不足や篤農技術の伝承に課題を抱える日本の農業の持続的発展につながるとしています。

3 販売戦略

(1) 「極旬」ブランド

自らが生産販売するぶどうを自社ブランドとして「極旬」と名付け、日本産を「表旬」、ニュージーランド産を「裏旬」と区分けしています。

日本に届く「裏旬」は空輸によっており、収穫から数日で届くため新鮮な状態が保たれます。日本では収穫できない時期であり、1房 3,000 円～6,000 円で、主に贈答用としての販売が予定されています。



「極旬」ロゴマーク

(2) 世界での日本のぶどうの価値を向上

世界を販売のターゲットとし、日本の生食用ぶどうの価値を高めることを目指しています。タイやシンガポール、中国でテスト販売を行い、タイでは日本の2～3倍の単価での販売となりました。



販売される「裏旬」のぶどう

(3) 飲食店との協業

個人消費の喚起に向けて、国内の飲食店と協業し、その店でオリジナルメニューの提供とともに EC サイト（電子商取引）への誘導を図っています。

ぶどう生産は初期投資が大きく、収穫開始までの3年間のランニングコストがかかった後によりやく資金の回収が始まり、収益を上げていく点が不動産事業に似ている、と代表取締役の鏑木氏は話されていました。それが、不動産会社ならではの事業として認められた理由のひとつと推測されます。

ぶどうに限らず、果樹園やハウス栽培に取り組むには大きな初期投資を必要とし、中でも果樹は収穫量が安定して収益をあげるまでには何年もかかるため、新規参入が困難な品目となっています。

今回紹介したような、大会社の後押しがある例は少ないと思われませんが、日本の高品質な果実類は、香港や中国などで高い人気があります。また、栽培技術の ICT 化として、AI を取り入れて栽培技術の自動化や篤農技術の可視化、一般化に向けて取り組む会社は多くあります。こうした技術を取り入れることで品質を維持しながら規模拡大を図り、可能ならば輸出を視野に入れ、また、条件が整えば第三者継承を行っていくことが、果樹産地の維持発展を図っていくために必要なことのように思われます。

2020年度の農林水産物輸出プロモーション強化事業について

食育消費流通課

愛知県は、経済成長が著しいアジア等への県産農林水産物及びその加工食品の輸出拡大に向け、海外バイヤーとの商談経験の少ない事業者等に商談機会を提供する「農林水産物輸出プロモーション事業」を実施しています。

同事業の2020年度を取組として、2021年3月に開催された国際食品・飲料展「FOODEX JAPAN 2021」に愛知県ブースを設置し、海外バイヤー等との商談実施を支援しました。

1 「FOODEX JAPAN 2021」の開催

「FOODEX JAPAN 2021」は、(一社)日本能率協会等が主催するアジア最大級の食品・飲料専門展示会であり、2021年3月9日(火)から12日(金)までの4日間、千葉県の幕張メッセで開催されました。

同展示会の4日間の来場者数は約2万6千人と、当初予定の8万5千人を大きく下回る結果となりましたが、愛知県ブースは、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言下においても、リアルな商談の場を求める多くのバイヤーで賑わいました。



来場者で賑わう愛知県ブースの様子

2 愛知県ブースの出展

同展示会では、愛知県ブース(5小間)を設置し、県産農林水産物及びその加工食品取扱事業者10事業者が出展しました。出展においては、ブースに来場するバイヤーだけでなく、本事業で別途招聘した海外バイヤーと出展者とのマッチングを行い、計40件の海外商談を実施しました。

出展者からは、「例年に比べ来場者は少ないものの、商談決定権を持ったバイヤーが多く、来場者数の割に濃密な商談が実施できた」などの声が聞かれました。

国内における輸出向けの大規模展示会は、海外で開催される展示会に比べ出展対応が容易であり、今後、海外輸出に本格的に取り組もうとする輸出経験の少ない事業者にとっては、非常に重要な機会といえます。本県では今後とも、こうした展示会への出展を通じ、県産農林水産物及びその加工食品の輸出拡大を支援していきます。

表 愛知県ブース出展者等一覧

事業者名	市町村	主な出展品目
株式会社南山園	安城市	抹茶関連商品
甘強酒造株式会社	蟹江町	みりん、こうじ
飯田農園	名古屋市	ミニトマト加工品
清洲桜醸造株式会社	清須市	日本酒、クラフトジン
土筆屋株式会社	半田市	寒天入り半生菓子
豊橋糧食工業株式会社	豊橋市	大麦関連商品
株式会社角谷文治郎商店	碧南市	みりん、梅酒
西尾製粉株式会社	西尾市	小麦粉、大豆粉
株式会社皓介	刈谷市	大あさり
株式会社タクセイ	一宮市	きな粉関連製品

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：みつば）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
2年実績	502	463 (92%)	559	静岡(7%) 福岡(1%) 埼玉(1%)
3年見通し	600	—	600	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内の海部及び名古屋地域からの入荷が中心となる。4月下旬の生育状況は良好で入荷は安定している。5月の愛知の入荷量は平年並の見込み。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、業務需要は低く、厳しい販売が見込まれる。一方、給食需要があるため、昨年度よりも荷動きは良い。</p> <p>入荷量と価格はともに前年をかなり上回る見込み。</p>		<p>現時点で品質に問題はないが、今後夏場に入ると変色や腐敗などが発生しやすい時期となる。輸送上の問題もあると思うが、品質管理に留意願いたい。</p> <p>葉物は全体的に安値傾向にあり、みつばも同様であるが、今後も安定した出荷をお願いしたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ペコロス）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
2年実績	143	16 (11%)	612	北海道(81%) ニュージーランド(6%) オーストラリア(1%)
3年見通し	160	—	630	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>令和2年は入荷量が前年比74%と大幅に減るも、外食需要の落ち込みにより、価格も同92%と安値となった。</p> <p>愛知が担う5～8月は入荷量の少ない時期で高値が期待できる。</p> <p>現状、単価持ち直しの兆しが見られるものの外食需要が元通りになるには程遠いと思われ、相場展開は厳しいか。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>		<p>ペコロスは、業務向けを中心に安定した需要がある。中心産地である北海道からの入荷がなくなる5～8月の愛知に対する期待は大きく、品質的には評価が高い。</p> <p>レストラン等、大きくはないが確実な需要があり、夏場を担うほぼ唯一の国内産地となっている。単価に見合う安定した入荷が求められている。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し

名古屋市中央卸売市場

4月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	28年	33,981	242	243	233	246	愛知 28%
	29年	35,201	227	235	213	230	茨城 10%
	30年	35,247	215	215	207	218	北海道 7%
	元年	33,516	215	209	214	215	徳島 7%
	2年	34,683	230	246	217	224	熊本 7%
	5ヵ年平均	34,525	226	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	34,300	206	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知を中心に茨城などから入荷する。各品目ともに生育は概ね順調で、平年並の入荷を見込む。葉菜類や根菜類は前進傾向にあり、上旬にピークとなる品目が多い。大半の品目で価格は前年を下回る見込み。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。							
だいこん	28年	1,774	100	97	109	97	愛知 68%
	29年	1,924	97	106	99	91	千葉 26%
	30年	1,724	80	67	88	99	青森 2%
	元年	1,765	87	72	103	94	静岡 2%
	2年	1,479	108	112	91	124	鹿児島 1%
	5ヵ年平均	1,733	94	90	98	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,600	85	80	85	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知を中心に千葉などから入荷する。各産地ともに前進傾向にあり、上旬にピークを迎え、下旬に向けて入荷減の見込み。気温が高く生育順調のため、太物中心の入荷が続けば下旬でも販売は苦戦しそう。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							
にんじん	28年	2,269	165	202	187	126	徳島 73%
	29年	2,369	133	141	140	118	岐阜 24%
	30年	2,769	117	165	119	89	兵庫 2%
	元年	2,409	111	129	112	101	
	2年	2,450	133	137	136	127	
	5ヵ年平均	2,453	131	155	138	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	2,300	130	130	135	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
徳島を中心に岐阜、兵庫から入荷する。徳島は前進傾向にあり、中旬から入荷減の見込み。前年よりも切り上りが早まるか。後続産地の岐阜、兵庫は生育順調で、下旬からの入荷が見込まれる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

4月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	28年	134,886	259	260	256	261	千葉 17%
	29年	144,436	238	245	234	235	茨城 17%
	30年	142,138	230	227	234	231	佐賀 6%
	元年	136,302	223	217	229	224	群馬 5%
	2年	127,259	246	260	227	250	長崎 5%
	5ヵ年平均	137,004	239	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	136,000	225	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>関東産地からの入荷が中心となる中、土物類は西南暖地からの入荷が本格化する。多くの品目では不足感のない入荷が予想されるが、気温高による前進傾向の影響で品目によっては端境が生じるか。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>
<p>関東産地からの入荷が中心となる中、土物類は西南暖地からの入荷が本格化する。多くの品目では不足感のない入荷が予想されるが、気温高による前進傾向の影響で品目によっては端境が生じるか。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
だいこん	28年	9,466	96	99	101	88	千葉 79%
	29年	10,434	91	107	89	78	茨城 14%
	30年	8,980	85	69	88	101	栃木 2%
	元年	9,253	80	64	102	78	青森 2%
	2年	7,872	106	111	84	122	群馬 1%
	5ヵ年平均	9,201	91	90	93	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	9,400	80	85	80	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>千葉を中心に、茨城など関東産地からの入荷となる。主力千葉は生育良好で暖かさにより前進傾向。一部に抽苔の懸念あるも入荷量への影響は大きくないか。他産地も順調な生育で、出回りに不足はない。入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>
<p>千葉を中心に、茨城など関東産地からの入荷となる。主力千葉は生育良好で暖かさにより前進傾向。一部に抽苔の懸念あるも入荷量への影響は大きくないか。他産地も順調な生育で、出回りに不足はない。入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
にんじん	28年	8,805	177	207	202	136	徳島 59%
	29年	9,126	141	146	146	131	千葉 30%
	30年	10,370	132	173	130	97	茨城 3%
	元年	7,965	124	132	119	123	埼玉 2%
	2年	7,323	143	145	141	143	長崎 2%
	5ヵ年平均	8,718	143	162	148	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	8,000	145	160	145	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>徳島、千葉からの入荷が中心となる。主力徳島は細物傾向。さらに前進化のため中旬以降数量を減らすと予想される。対して千葉は入荷が本格化し量を増やしていく。千葉の出方で相場は軟化するか。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年並となる見込み。</p>
<p>徳島、千葉からの入荷が中心となる。主力徳島は細物傾向。さらに前進化のため中旬以降数量を減らすと予想される。対して千葉は入荷が本格化し量を増やしていく。千葉の出方で相場は軟化するか。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年並となる見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

4月16日現在

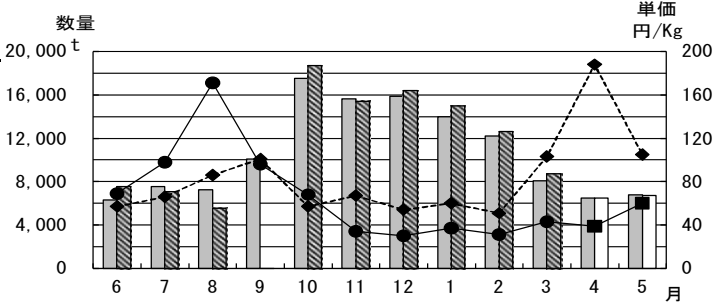
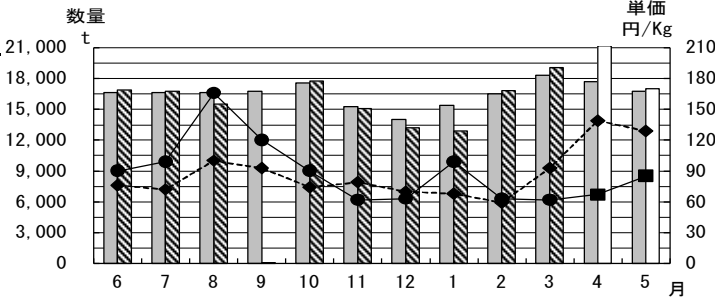
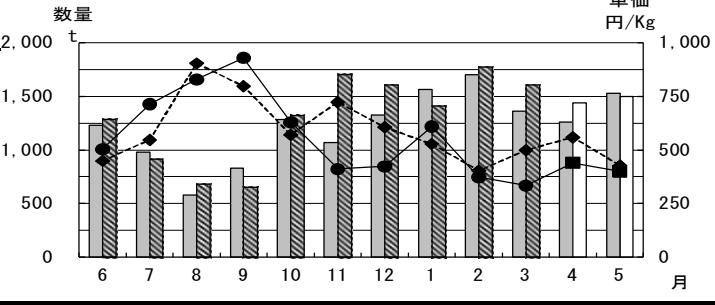
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	28年	1,471	82	90	80	80	茨城 82%
	29年	1,572	84	114	70	70	愛知 13%
	30年	1,980	71	65	82	71	長野 5%
	元年	2,079	66	67	64	69	
	2年	2,040	126	177	95	109	
	5ヵ年平均	1,828	86	103	78	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	1,950	70	70	70	70		
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/kg			
	茨城を中心に愛知、長野から入荷する。茨城は生育良好で、前進傾向にある。愛知も前進しており、入荷量は平年をかなり下回る見込み。長野は生育順調で下旬からの入荷を見込む。5月も販売苦戦となるか。入荷量は前年をやや下回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。						
キャベツ	28年	3,371	113	123	100	118	愛知 73%
	29年	3,380	103	130	92	97	茨城 19%
	30年	3,729	75	80	74	77	兵庫 3%
	元年	3,089	107	90	131	103	神奈川 1%
	2年	3,506	127	149	127	108	鹿児島 1%
	5ヵ年平均	3,415	105	114	104	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	3,500	90	90	90	90		
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/kg			
	愛知を中心に茨城などから入荷する。両産地ともに生育良好で、順調な入荷を見込む。愛知の入荷量は前年をやや上回る見込み。3月の適度な気温と降雨により、前進傾向となっている。入荷量は前年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。						
ほうれんそう	28年	273	578	539	562	611	岐阜 72%
	29年	300	515	528	469	573	茨城 12%
	30年	277	561	510	579	590	愛知 10%
	元年	316	453	379	511	468	静岡 3%
	2年	351	513	547	483	511	長野 2%
	5ヵ年平均	303	521	500	518	547	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	350	500	500	500	500		
ら	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/kg			
	岐阜を中心に茨城、愛知などから入荷する。各産地ともに生育順調。岐阜は例年よりも生育が早く、GWにピークを迎える。茨城は他品目からの切り替えにより、平年より入荷量が多い見込み。入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

4月30日現在

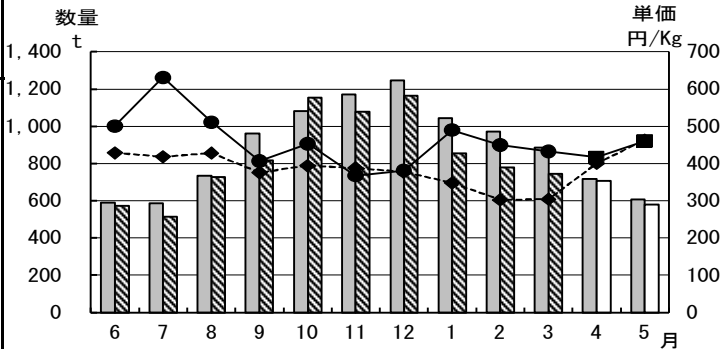
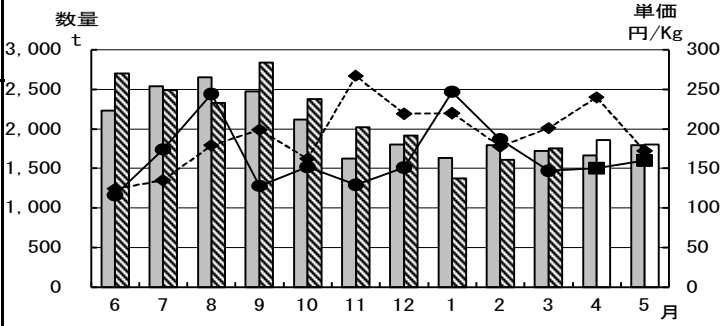
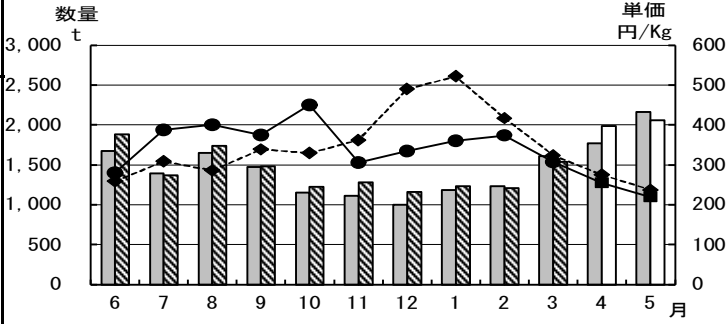
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	28年	5,882	60	66	58	57	茨城 95%	
	29年	7,005	64	90	60	43	長野 3%	
	30年	6,982	52	46	66	44	長崎 1%	
	元年	6,570	48	51	47	46		
	2年	6,787	105	168	71	86		
	5ヵ年平均	6,645	66	85	61	55	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	6,700	60	70	60	50		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷がほとんどを占める。茨城は順調な生育でやや前進傾向。ピークは過ぎたものの十分な出回りが続くと見込まれる。前年はキムチ需要により価格高騰したが今年は厳しいか。 入荷量は前年並となり、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					
								
	キャベツ	28年	17,349	100	101	100	98	千葉 41%
29年		19,052	90	97	87	87	神奈川 25%	
30年		19,976	63	60	65	65	愛知 17%	
元年		17,175	96	74	121	96	茨城 14%	
2年		16,771	129	156	122	112	東京 1%	
5ヵ年平均		18,065	94	96	98	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		17,000	85	90	85	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、神奈川、愛知、茨城からの入荷が中心となる。各産地とも作柄良好で前進化。千葉は数量十分も神奈川は大きく数量を減らしていき愛知も減らす。一方、茨城が始まり、不足感はなく相場は厳しいか。 入荷量は前年並となり、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
								
ほうれんそう		28年	1,375	473	456	469	492	群馬 38%
	29年	1,512	436	459	401	455	茨城 38%	
	30年	1,412	446	421	480	442	埼玉 8%	
	元年	1,481	370	340	399	370	岐阜 4%	
	2年	1,526	427	462	379	440	岩手 4%	
	5ヵ年平均	1,461	430	428	424	439	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	1,500	400	410	390	400		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東産地を中心に岐阜などからも入荷する。各産地とも生育順調。気温高により前進気味の産地もある。茨城は作付面積が増え、数量も増える見込み。総じて潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
								

名古屋市中央卸売市場

4月16日現在

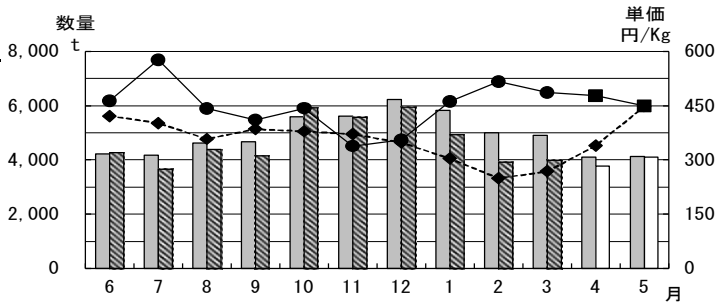
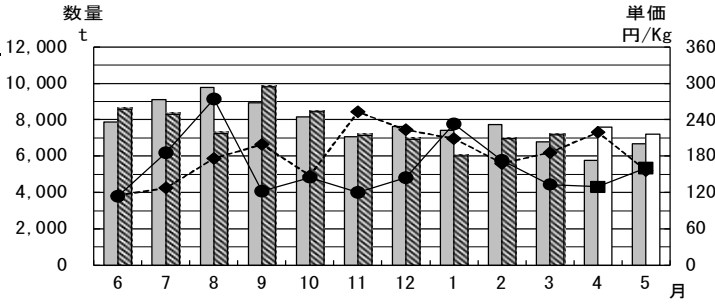
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	28年	581	558	600	601	514	大分 31%
	29年	602	449	439	459	444	愛知 19%
	30年	573	497	456	547	499	鳥取 9%
	元年	604	416	439	402	417	静岡 8%
	2年	606	463	475	433	484	茨城 6%
	5ヵ年平均	593	476	481	487	471	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	580	460	460	460		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、大分、鳥取などから入荷する。愛知は越津ねぎが終了し、新ねぎは平年並の入荷となる見込み。大分、鳥取などが中心となる白ねぎは、やや前進傾向にあり、平年よりも少なめの入荷が予想される。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。</p>						
	し	28年	1,738	189	198	170	205
29年		1,890	161	202	153	137	兵庫 15%
30年		1,841	166	153	145	200	茨城 11%
元年		1,689	188	193	201	174	山梨 3%
2年		1,796	172	218	153	151	群馬 2%
5ヵ年平均		1,791	175	193	164	173	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し		1,800	160	180	160	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>長野を中心に茨城、兵庫から入荷する。各産地ともに前進傾向にあり、4月の主産地である茨城と兵庫は中旬頃に終了する見通し。後続産地の長野は生育順調で、2L・Lを中心に順調な入荷を見込む。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
きゅう		28年	1,807	259	248	255	277
	29年	1,928	232	245	225	227	宮崎 17%
	30年	2,102	246	206	296	249	群馬 13%
	元年	2,108	215	205	223	216	高知 11%
	2年	2,162	238	212	214	285	長野 8%
	5ヵ年平均	2,021	237	222	242	251	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	2,060	220	200	220	240	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知を中心に群馬、高知などから入荷する。愛知や高知などの冬春作に加え、群馬や長野などの春作が出揃い、安定した入荷を見込む。各産地ともに作柄良好で、GWに向けてピークを迎える。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

4月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	28年	4,024	539	628	523	486	茨城 45%
	29年	4,230	426	420	435	420	千葉 22%
	30年	4,102	461	467	527	404	埼玉 8%
	元年	4,234	406	431	375	412	栃木 6%
	2年	4,115	448	430	424	481	福岡 4%
	5ヵ年平均	4,141	455	475	457	441	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	4,100	450	480	440	430	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉など関東産地からの入荷が中心となる。生育は概ね順調で肥大も良好。抽苔の早まる産地もあり、総じて前進傾向。品質に問題はなく、出回り量は十分と見込まれる。 入荷量と価格はともに前年並となる見込み。</p>					
し	28年	8,232	170	184	149	176	長野 37%
	29年	8,298	142	182	131	119	茨城 28%
	30年	7,863	152	130	135	191	群馬 24%
	元年	7,602	160	163	175	147	兵庫 4%
	2年	6,679	156	200	131	141	福岡 2%
	5ヵ年平均	7,735	156	171	144	155	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	7,200	160	140	160	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、茨城、群馬からの入荷が中心となる。各産地とも気温高により前進傾向。長野は生育順調で入荷が本格化。群馬は中旬から量がまとまるも茨城は終盤となり、切り上がりの早まりで相場は上向きか。 入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
きゅう	28年	8,998	255	266	249	247	群馬 27%
	29年	9,282	233	243	225	231	埼玉 26%
	30年	9,219	258	215	318	258	宮崎 11%
	元年	8,460	215	209	231	204	千葉 10%
	2年	8,229	246	312	212	204	茨城 10%
	5ヵ年平均	8,838	242	248	248	230	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	8,400	240	240	230	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、埼玉など関東産地や宮崎からの入荷が中心となる。産地により気温高で前進傾向。成り疲れや病害が散見される産地もあるも入荷量への影響は少ない。出回りの多い時期で、相場展開は荷動き次第か。 入荷量は少なかった前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

4月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	28年	1,020	370	372	376	372	熊本 42%
	29年	1,115	357	367	357	351	愛知 33%
	30年	1,050	342	332	347	351	宮崎 21%
	元年	1,165	315	332	317	306	高知 4%
	2年	1,149	331	361	328	312	
	5ヵ年平均	1,100	342	353	344	337	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,150	315	330	310	310	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、熊本を中心に入荷する。両産地ともに作柄良好で、上旬にピークを迎える。日照時間の増加により、大玉中心の入荷を見込む。愛知の入荷量は少なかった前年並となり、熊本は今後増量する見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。							
ト マ ト	28年	1,881	284	295	273	283	熊本 51%
	29年	1,913	254	252	254	258	愛知 23%
	30年	2,177	235	266	244	202	三重 15%
	元年	1,980	210	219	213	204	岐阜 10%
	2年	1,884	228	276	212	205	
	5ヵ年平均	1,967	242	261	239	229	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,900	215	230	220	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、愛知を中心に三重、岐阜から入荷する。各産地ともに天候に恵まれ、生育良好で、順調な入荷を見込む。大玉中心の入荷となり、上中旬がピークとなるか。愛知は前年並の入荷となる見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。							
ミ ニ ト マ ト	28年	577	565	573	541	573	熊本 59%
	29年	694	529	499	537	561	愛知 29%
	30年	777	501	529	500	475	和歌山 5%
	元年	832	439	461	437	418	宮崎 5%
	2年	842	423	500	407	379	
	5ヵ年平均	744	485	508	478	472	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	800	430	450	400	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、愛知を中心に入荷する。今年は前進傾向にあり、入荷が2週間程度早まっている。前年のピークは下旬であったが、今年はGWに向けて増量する見通し。愛知は平年並の入荷となる見込み。 入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。							

東京都中央卸売市場

4月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	28年	4,106	420	416	428	416	高知 46%
	29年	4,748	399	435	400	370	福岡 14%
	30年	4,532	399	398	416	388	群馬 12%
	元年	4,813	341	347	340	336	熊本 10%
	2年	4,606	374	406	364	357	栃木 4%
	5ヵ年平均	4,561	385	400	390	373	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	4,600	360	380	350	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知を中心に、福岡、群馬、熊本などからの入荷となる。各産地とも生育は概ね順調で、群馬は気温高により前進傾向。なり疲れのみられる産地があるも量に不足はなく、相場展開は厳しいか。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ	28年	10,443	295	319	279	291	熊本 30%
	29年	10,263	280	278	282	281	栃木 25%
	30年	10,990	270	303	278	234	愛知 11%
	元年	10,019	246	247	250	242	千葉 7%
	2年	9,159	268	336	234	247	茨城 6%
	5ヵ年平均	10,175	272	296	266	259	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	9,500	270	290	260	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本や関東産地、愛知からの入荷となる。各産地とも順調な生育。気温の上昇により小玉傾向は解消し玉伸びは良くなる見込み。数量に不足はなく入荷の山谷もほとんどないと見込まれる。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	28年	2,302	512	519	490	528	熊本 48%
	29年	2,434	495	447	502	536	愛知 20%
	30年	2,742	470	493	464	452	宮崎 7%
	元年	2,854	407	439	393	392	千葉 7%
	2年	2,769	397	488	375	344	静岡 7%
	5ヵ年平均	2,620	453	476	441	445	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	2,700	450	490	440	420	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に宮崎、千葉、静岡からの入荷となる。成り疲れが一部産地でみられるも早期の回復を見込む。主要産地は5月にピークを迎えて増量し、潤沢な出回りになると見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

4月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	28年	740	349	462	351	307	鹿児島 33%
	29年	926	311	386	311	263	宮崎 30%
	30年	850	276	326	296	269	茨城 25%
	元年	733	244	271	225	284	高知 12%
	2年	804	428	566	385	345	
	5ヵ年平均	810	322	402	314	292	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	800	280	330	280	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
鹿児島、宮崎、茨城を中心に入荷する。各産地ともに生育順調で、平年並の入荷を見込む。ピークはGW明け以降となるか。5月は一ヶ月通して安定した入荷となる見込み。 入荷量は前年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。							
白菜	28年	3,445	205	202	194	217	長崎 65%
	29年	3,401	166	193	162	156	鹿児島 19%
	30年	2,859	127	147	128	108	静岡 9%
	元年	3,274	133	145	132	122	北海道 5%
	2年	3,003	223	189	220	257	熊本 2%
	5ヵ年平均	3,196	171	176	168	173	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	3,300	200	220	200	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
長崎、鹿児島を中心に静岡などから入荷する。長崎は生育順調で、作付面積は若干減少するものの安定した入荷を見込む。鹿児島は2L中心に入荷し、下旬に終了か。静岡は中旬からの入荷見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。							
たまねぎ	28年	5,731	75	73	66	88	愛知 54%
	29年	6,404	81	87	72	87	北海道 38%
	30年	5,465	80	92	74	80	兵庫 7%
	元年	4,920	78	87	77	74	熊本 1%
	2年	5,792	53	59	47	55	
	5ヵ年平均	5,662	73	79	67	77	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	5,500	60	60	60	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、北海道を中心に兵庫などから入荷する。愛知は生育順調で、2Lを中心に順調な入荷を見込む。北海道は終盤となる。これから入荷の中心となる兵庫も生育順調で、GW頃からの入荷が予想される。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

4月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	28年	2,623	383	461	368	334	茨城 62%	
	29年	2,881	361	434	348	313	宮崎 19%	
	30年	2,721	328	357	321	307	高知 12%	
	元年	2,802	318	332	290	332	鹿児島 5%	
	2年	2,802	486	607	424	433	和歌山 1%	
	5ヵ年平均	2,766	375	438	350	344	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	2,800	360	400	360	320		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に宮崎、高知などからの入荷となる。茨城での果実肥大の遅れは気温上昇により解消し、病害虫発生懸念あるも収量や品質への影響はない。各産地とも生育は順調で、潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
	<p>長崎を中心に、鹿児島、北海道などからの入荷となる。九州産地の生育は順調で若干の前進傾向。主力の長崎が本格化し量を増やしていくが鹿児島は終盤で中旬以降に量を減らし、静岡が中旬には始まる。 入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
	白菜	28年	9,131	211	201	204	226	長崎 63%
29年		10,757	165	182	160	155	鹿児島 14%	
30年		9,465	118	130	123	104	北海道 11%	
元年		9,658	132	143	132	122	静岡 6%	
2年		8,375	232	187	228	272	熊本 5%	
5ヵ年平均		9,477	170	168	167	172	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		9,000	220	240	220	200		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>佐賀、北海道からの入荷が中心となる。主力の佐賀は前進傾向で収穫が進むも、今後収穫の作型では肥大遅れがみられる。在庫からの北海道は量を減らす一方、兵庫が始まり、総じて量は潤沢な見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						
<p>佐賀、北海道からの入荷が中心となる。主力の佐賀は前進傾向で収穫が進むも、今後収穫の作型では肥大遅れがみられる。在庫からの北海道は量を減らす一方、兵庫が始まり、総じて量は潤沢な見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>								
たまねぎ		28年	11,608	92	118	83	77	佐賀 57%
	29年	14,172	104	103	103	107	北海道 21%	
	30年	12,933	90	93	92	86	兵庫 9%	
	元年	14,481	87	98	85	80	千葉 4%	
	2年	13,348	47	42	40	60	熊本 2%	
	5ヵ年平均	13,308	84	90	81	82	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	13,800	75	80	70	75		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>佐賀、北海道からの入荷が中心となる。主力の佐賀は前進傾向で収穫が進むも、今後収穫の作型では肥大遅れがみられる。在庫からの北海道は量を減らす一方、兵庫が始まり、総じて量は潤沢な見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
	<p>佐賀、北海道からの入荷が中心となる。主力の佐賀は前進傾向で収穫が進むも、今後収穫の作型では肥大遅れがみられる。在庫からの北海道は量を減らす一方、兵庫が始まり、総じて量は潤沢な見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

4月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	28年	6,951	419	433	429	403	熊本 35%
	29年	7,203	409	427	405	415	フィリピン 17%
	30年	7,100	417	442	429	405	青森 12%
	元年	6,419	426	450	427	424	愛知 12%
	2年	6,126	441	462	436	443	ニュージーランド 7%
	5ヵ年平均	6,760	422	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	6,400	390	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	すいか、メロン、りんご、いちごを中心に入荷する。りんごは不作の昨年と比べて在庫量が多く、価格は前年を大幅に下回る見込み。いちごは緩やかな入荷となり、九州地方の切り上げが早いと予想される。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						
その他メロン (アールスメロン以外)	28年	953	419	491	423	377	熊本 82%
	29年	758	448	487	453	436	愛知 9%
	30年	837	435	529	450	378	茨城 4%
	元年	829	446	537	447	396	メキシコ 3%
	2年	835	429	488	445	388	鹿児島 2%
	5ヵ年平均	842	435	506	443	394	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	780	450	450	450	450		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本を中心に愛知、茨城、メキシコなどから入荷する。全国的に作付面積は減少し、入荷量も減少している。愛知のメロン類の入荷量は平年よりもかなり下回る見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。						
すいか	28年	1,496	278	301	295	256	熊本 80%
	29年	1,390	299	319	307	281	愛知 15%
	30年	1,576	272	323	289	234	和歌山 3%
	元年	1,518	265	293	269	246	沖縄 2%
	2年	1,431	264	241	270	266	
	5ヵ年平均	1,482	275	296	286	256	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	1,450	260	270	260	250		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本を中心に愛知などからも入荷する。今年は気温も高く、例年よりも早めの入荷となる見込み。愛知は生育順調。作付面積は昨年並で、入荷量も昨年並を見込む。入荷量と価格はともに前年並の見込み。						

東京都中央卸売市場

4月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	28年	26,086	444	471	443	460	熊本 26%
	29年	28,729	418	438	418	399	青森 12%
	30年	27,416	447	481	443	420	茨城 12%
	元年	26,366	438	468	444	410	フィリピン 9%
	2年	23,708	474	491	476	457	愛媛 5%
	5ヵ年平均	26,461	443	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	27,000	430	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	すいか、メロンを中心に入荷する。4月に暖かい日が続いたため、前進出荷となる。緊急事態宣言の影響で業務需要が冷え込み、価格は厳しいか。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						
その他メロン (アールスメロン以外)	28年	3,233	477	546	495	428	茨城 67%
	29年	2,868	500	539	534	479	熊本 26%
	30年	3,314	458	562	479	413	メキシコ 3%
	元年	2,846	465	542	467	425	長崎 1%
	2年	2,779	443	478	443	413	
	5ヵ年平均	3,008	469	532	481	432	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	2,900	460	492	456	425	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	茨城、熊本を中心に、品種はアンデスやクインシーなどが入荷する。天候に恵まれ、生育は順調で前進出荷傾向。価格は前年より高いが、平年と比べると厳しいか。入荷量は前年をやや上回り、価格も前年をやや上回る見込み。						
す	28年	6,900	288	312	298	267	熊本 72%
	29年	6,272	297	313	305	284	千葉 12%
	30年	7,402	287	327	298	248	茨城 11%
	元年	6,806	281	316	286	262	群馬 3%
	2年	5,942	279	259	289	288	
	5ヵ年平均	6,664	286	307	295	269	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	6,300	270	246	275	274	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本を中心に千葉、茨城などからも入荷する。大玉すいかは好天により出荷が前倒しになっており、5月は平年よりも入荷量を減らす見込み。価格は緊急事態宣言の影響もあり、厳しいか。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。						

切花・鉢花の5月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 4月30日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	28年	1,777	51	
		29年	1,753	43	
		30年	1,724	32	
		元年	1,730	35	
		2年	1,123	40	
	5カ年平均	1,621	40		
	3年見通し	1,300	35		
	概要	愛知を中心に入荷する。中旬からは夏菊の出荷も始まり、下旬にかけて出荷量も増加してくる。業務需要が見込めないので、上位等級中心に相場は苦しうである。			
小 ぎ	実績	28年	1,128	30	
		29年	1,080	30	
		30年	978	22	
		元年	1,050	26	
		2年	997	26	
	5カ年平均	1,047	27		
	3年見通し	1,000	26		
	概要	上旬は沖縄を中心に入荷する。中旬以降は夏秋品種に代わってくるが平年に比べて作付けは少なめか。愛知産の出荷も中旬以降少しづつ増えてくるが、全体的には少なめに推移しそうである。			
カー ネ ー シ ョ ン	実績	28年	1,651	42	
		29年	1,888	46	
		30年	1,610	43	
		元年	1,600	43	
		2年	1,410	47	
	5カ年平均	1,632	44		
	3年見通し	1,500	50		
	概要	愛知を中心に入荷する。若干の前進傾向はあるものの、母の日には出荷のピークを持つてくる見込み。輸入物の入荷の不安定さが気になるころ。			
か す み	実績	28年	245	64	
		29年	241	68	
		30年	220	64	
		元年	230	65	
		2年	178	59	
	5カ年平均	223	64		
	3年見通し	220	64		
	概要	高知、和歌山、熊本から入荷する。気温が高かったため、4月下旬から5月上旬の出荷量は多めで母の日需要期も上位等級の入荷は多くなりそう。また、量販店を中心とした下位等級の注文は多く、枝かすみは品薄に推移する。			

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等				数量 千本	単価 円/本
ゆり	実績	28年	348	142		
		29年	342	158		
		30年	283	143		
		元年	300	140		
		2年	266	114		
	5カ年平均	308	141			
	3年見通し	280	135			
概要	高知、宮崎、埼玉、新潟から入荷する。昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響から作付けを減らしている産地もあるが、5月中旬頃からは増えてくる見通し。					
洋らん	実績	28年	387	90		
		29年	417	77		
		30年	329	80		
		元年	350	80		
		2年	212	92		
	5カ年平均	339	83			
	3年見通し	300	90			
概要	愛知、鹿児島、静岡、徳島等の国産並びに輸入品が入荷する。輸入品の入荷は未だ不安定なところもあり、新型コロナウイルス感染症の第4波の影響で販売も見通しづらい。					
ばら	実績	28年	908	71		
		29年	918	74		
		30年	990	72		
		元年	960	72		
		2年	616	69		
	5カ年平均	878	72			
	3年見通し	800	72			
概要	愛知、岐阜、三重を中心に入荷する。高冷地の出荷も徐々に始まってきている。例年に比べ、母の日の注文率が高く、家族のイベントに花が選ばれている印象がある。					
枝も	実績	28年	1,373	48		
		29年	1,618	48		
		30年	1,309	47		
		元年	1,400	47		
		2年	924	53		
	5カ年平均	1,325	48			
	3年見通し	1,200	50			
概要	5月前半の母の日ウィークはアセビ、ドウダン、ピットなどが例年になく強い引き合いで価格高騰。節句の花のショウブも前進出荷により品薄で高騰が見込まれる。稽古花材は引き合いは弱い。					

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	28年	18,967	602	
		29年	34,378	489	
		30年	18,365	596	
		元年	21,489	720	
		2年	20,587	648	
	5年平均	22,757	597		
	3年見通し	18,500	700		
概要	<p>入荷量は5号鉢中心に前年よりも減少傾向。母の日需要が高く、前年同様4号鉢良品は品薄が予想される。連休前から母の日までにかけて出荷のピークを迎えるが、例年より注文数も多く相場も安定する見込み。 前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野（47.9%）、2位新潟（13.8%）、3位埼玉（13.3%）となっている。</p>				
ファレノプシ	実績	28年	41,268	2,742	
		29年	64,213	2,280	
		30年	49,222	2,330	
		元年	48,013	2,448	
		2年	28,625	2,364	
	5年平均	46,268	2,418		
	3年見通し	28,000	2,411		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。前年のコロナウイルスの影響により生産量の削減、海外へ苗の仕入れに行けずに生産量が減っている。大輪、ミディーとも同じ状況である。競売で出荷される商品は少なく品薄になり、単価は上がる見込み。 前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（54.1%）、2位熊本（11.6%）、3位静岡（10.0%）となっている。</p>				
バラ及びミニバラ	実績	28年	85,276	342	
		29年	104,123	338	
		30年	78,433	324	
		元年	75,290	312	
		2年	70,193	265	
	5年平均	82,663	319		
	3年見通し	70,000	257		
概要	<p>入荷量は前年並みか若干減少傾向にある。5月初め一週間が最需要期になるので、早めの出荷をお願いしたい。5号鉢までの小鉢中心の動きになる、温度も上がってくるため固めでの出荷をお願いしたい。 前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（47.3%）、2位岐阜（39.0%）、3位愛媛（3.9%）となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ ン ジ ア	実 績	28年	229,714	753	
		29年	353,921	890	
		30年	284,993	921	
		元年	280,059	872	
		2年	231,310	816	
	5カ年平均		275,999	858	
	3年見通し		231,000	814	
概要	<p>入荷量は前年と同等か、多少の減少予想。大型連休に向けての納品も多くなるので出荷時期としても多少早まる。今後の天候にもよるが生育が早い予想もあり、5月上旬予定の商品が4月下旬へシフトする商品もある。5号中心の取扱いでバイカラー系と額アジサイの八重系の引き合いはいい。また、新しい品種も増えているので取扱い品種数は増える。小鉢の生産も増加傾向、相場は世間の状況次第で大きく変わるか。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(57.6%)、2位群馬(12.0%)、3位埼玉(8.8%)となっている。</p>				
ス パ テ ィ フ ィ ラ ム	実 績	28年	18,041	313	
		29年	24,505	254	
		30年	17,894	296	
		元年	18,779	291	
		2年	17,592	311	
	5カ年平均		19,362	290	
	3年見通し		17,000	300	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。生産数における減少傾向の引き続きが要因か。入荷量が増える見込みは無く、物量減で平均単価上昇な予想となる。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(48.1%)、2位愛知(23.6%)、3位静岡(11.0%)となっている。</p>				
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	28年	296,483	466	
		29年	472,208	474	
		30年	377,299	493	
		元年	363,009	443	
		2年	215,562	502	
	5カ年平均		344,912	474	
	3年見通し		216,000	505	
概要	<p>入荷量は前年並みだが、定番の赤、ピンクは売相次ぎ、今季競売分はほぼ皆無。4月が暖かい影響で全体1週間から10日出荷が早まる見込み。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(63.3%)、2位群馬(16.0%)、3位福島(4.8%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.575
令和3年5月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434